

URL <http://www.city.oshu.iwate.jp/>

# 世界遺産への推薦が 正式に決定しました

平泉—浄土思想を基調とする文化的景観—

9月14日に開催された、世界遺産条約関係省庁連絡会議でユネスコに対し平泉—浄土思想を基調とする文化的景観—を日本政府として推薦することが正式に決定されました。これにより、今後は推薦書の提出、現地調査など本格的な登録作業へと進むこととなります。

世界にアピールするため  
名称を変更

平泉周辺の遺産は、これまで「平泉の文化遺産」の名称で登録推進活動を行ってきましたが、ことし6月に一関市で開催された国際会議の結果を受け、「平泉—浄土思想を基調とする文化的景観—」に改めることになりました。この会議には、国際記念物遺跡会議（イコモス）の委員らが参加し「平泉周辺の個々の遺産の貴重さはもちろん、

遺産が当地の自然環境を取り込んでつくり出されており、800年の時を経た今なお、ほぼ当時のままの状態で見られること」と、「平泉文化の背景にある浄土思想が現在でも宗教儀礼や地元の行事に息づいていること」が国際的な視点からも評価されました。これを受けて名称を変更したものです。

「平泉」と関わりの深い  
奥州市

市内の世界遺産登録に直接関わる遺産は、白鳥館遺跡（前沢区）と長者ヶ原廃寺跡（衣川区）ですが、このほかにも「平泉」に関連する史跡が多く存在しています。例えば、水沢区には藤原氏の祖先である安倍氏が力を蓄えるきっかけになった胆沢城があります。同様に、江刺区には藤原

清衡が平泉に移る前の居館であった豊田館、胆沢区には奥州市周辺が古くから南北交流の重要地点であったことを示す角塚古墳があります。この一例が示すように「平泉」は本市と大きな関わりを持っています。

今後予定されている  
スケジュール

今後は世界遺産登録推薦書をユネスコ世界遺産委員会に提出することがひとつの大きな目標となります。同委員会は「平泉—浄土思想を基調とした文化的景観—」の世界遺産登録の可否を決定しますが、その前に推薦書がイコモスに送付され、世界遺産としてふさわしいかどうかの審議を行います。イコモスは現地調査の結果を踏まえて意見を世界遺産委員会に提出。同委員会はこれをもとに登録の最



▲白鳥館遺跡



▼長者ヶ原廃寺跡

終決定を行います。イコモスの現地調査は平成19年に行われ、世界遺産委員会の最終決定は平成20年7月ごろに開催される第32回世界遺産委員会の予定です。

●問い合わせ：世界遺産登録推進室（前沢総合支所 内線312、313）